



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター
（奈良県保健環境研究センター内）
Nara IDSC



📌 今週の概要

- 今週の感染症情報
- 気になる話題 ～手足口病の原因ウイルスについて～ NEW
- 月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（9月月報） NEW
- 病原体（ウイルス）検出情報（9月） NEW



（調査週） 平成 23 年 第 40 週 10 月 3 日（月）～ 10 月 9 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当り	奈良県	北 部	中 部	南 部
1	感染性胃腸炎	1.49	→	→～↑	→	→～↓
2	手足口病	1.26	→～↓	→～↓	→～↓	↓
3	RS ウイルス感染症	0.51	→	↑	→～↓	↓
4	水 痘	0.43	→	↓	↑	↑↑
5	突発性発疹	0.37	→	↓	↑	↑

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

奈良市保健所管内で手足口病が警報レベル（定点当たり3.14）です。

県北部地区概況 報告数は 85 例で、前週報告の 80 例からほぼ横ばい。上位 5 疾患は、①手足口病、②感染性胃腸炎、③RS ウイルス感染症、④流行性耳下腺炎、⑤突発性発疹＝水痘＝A 群溶連菌咽頭炎の順。感染性胃腸炎の報告数（25 例）は、ほぼ倍増。手足口病の報告数（29 例）は、やや増加。流行性耳下腺炎の報告数（5 例）も、やや増加。RS ウイルス感染症の報告数（13 例）は、ほぼ横ばい。A 群溶連菌咽頭炎の報告数（3 例）も、ほぼ横ばい。水痘の報告数（3 例）は、やや減少。突発性発疹の報告数（3 例）も、やや減少。奈良市 HC および郡山 HC 両管内基幹定点からの報告はなかった。また、両 HC 管内眼科定点からの報告もなかった。（村井 記）

県北部外来状況：外来患者数は、予防接種を除けば少ない。全国で流行している RS ウイルス気管支炎が 2 週続けて大流行している。鼻汁に続いて 1 日のうちで上下し、4－5 日続く発熱、続いて喘息様のゼロゼロがひどくなる。保育園の乳幼児に多い。感染性胃腸炎はノロウイルスと思われるものは皆無で、細菌性があるのみ。手足口病は減少したが、小学生以上でみられる。（矢追 記）

県中部地区概況 報告数は39週の93例から、40週は78例と減少した。上位の5疾患（39週→40週）は、①感染性胃腸炎（20例→25例）、②手足口病（26例→14例）、③咽頭結膜熱（15例→11例）、④水痘（4例→10例）、⑤突発性発疹（4例→7例）の順であった。感染性胃腸炎が増加し1位、手足口病は減少し2位となった。RSウイルス感染症は更に減少し6位（9例→5例）となった。インフルエンザの報告はなかった。眼科定点及び基幹定点からの報告もなかった。（徳田 記）

県中部外来状況：外来数は増加。感冒の他手足口病が再び増加、重症例はなく従来通りの経過の例が殆ど。5才女児で、典型的な手足口病と迅速陽性のA群溶連菌感染症併発例があった。52歳男性で孫から感染の手足口病があったが、手足の水疱は痛いとの訴えであった。感染性胃腸炎も続いているが口々はまだない。RS気管支炎様の例はなかった。（岡本 記）

県南部地区概況 報告数（第39週→第40週）は14例→11例と推移。報告のあった疾患は①突発性発疹（1例→3例）、②感染性胃腸炎（3例→2例）、②水痘（0例→2例）、②ヘルパンギーナ（2例→2例）、⑤A群溶連菌咽頭炎（0例→1例）、⑤手足口病（7例→1例）であった。（柳生 記）

県南部外来状況：外来数は、予防接種以外は感冒、喘息などがやや増加。感染性胃腸炎が少し見られた他は手足口病、ヘルパンギーナ、A群溶連菌咽頭炎、流行性耳下腺炎が僅かずつあった程度。9月下旬提出の手足口病の保育所児例でCoxA16検出の報告があった。（山本 記）

【気になる話題 ～手足口病の原因ウイルスについて～】

奈良県中部地区（橿原市および葛城市）で9月中旬に採取された手足口病患者2検体から、コクサッキーウイルスA群16型（CA16）が検出されました。

7～8月にピークが見られたCA6を原因としたものとは臨床像が異なり、再感染例の報告もあったことから、別のウイルスを原因とする可能性が指摘されていきました（第34、36週週報参照）。今回の検出は、その予測を裏付けるものと考えます。

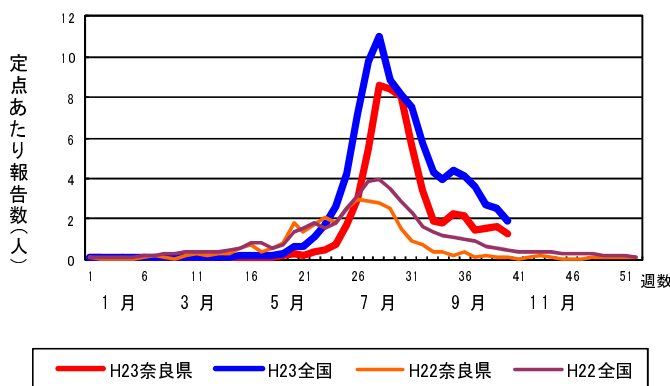


図. 手足口病の定点あたり報告数（奈良県・全国）

（感染症情報センター 記）

【月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（9月月報）】

平成23年9月に、奈良県内の定点医療機関より保健所に届出のあった月報告対象感染症の報告数は以下の通りです。

・STD患者数（人）

疾患名/報告月	9月		前月（8月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
性器クラミジア感染症	8	0.89	10	1.11
性器ヘルペスウイルス感染症	3	0.33	3	0.33
尖圭コンジローマ	3	0.33	2	0.22
淋菌感染症	4	0.44	1	0.11

・薬剤耐性菌感染症患者数（人）

疾患名/報告月	9月		前月（8月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	19	3.17	40	6.67
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	0.67	6	1.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	1	0.17
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0

（感染症情報センター 記）

【病原体（ウイルス）検出情報（平成23年9月）】

病原体定点医療機関から保健環境研究センターウイルスチームに搬入された検体の、9月におけるウイルス検出状況は以下の通りです。

患者数（平成23年9月検出分）

検出病原体		北和	中和	南和	その他	臨床診断名
コクサッキー	A6		2			水痘(1),手足口病(1)
アデノ	3		1			扁桃炎(1)

（保健環境研究センター 記）